

拠点

拠点1 子どもの生活研究所【療育】

1. 事業概況（運営方針・目標の実施状況）

めばえ学園、おおらか学園、東京都発達障害者支援センター、さらに保育所（すこやか園・宇奈根なごやか園）などの事業所の実質的な運営を有機的に連携させた「クローバーシステム」を基盤として、子どもの生活研究所こぐま学園、特定相談支援事業所との関係も含めて法人内の他の事業との協力体制を図りながら、人員配置や事業運営を柔軟に行った。

社会福祉法人嬉泉の基幹となる療育・保育の実践学習の場として、受容的交流理論の継承・発展に取り組み、職員の質的向上務める。と共に法人の職員研修の場としての位置づけを更に強化し、且つ積極的に人事交流を展開した。

また、社会福祉法人の責務として、世田谷区の世田谷区社会福祉協議会が設置する「社会福祉法人地域公益活動協議会」に参画し、地域における公益的な取り組みを実施していくが、法人内において、世田谷区内で中心的に事業展開をし、さらに法人本部のある子どもの生活研究所が中心的な役割を担った。

保育部門拠点と連携・協力し運営を行った。

《子どもの生活研究所・こぐま学園、相談支援事業所》

世田谷区指定による「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」の指定を受け、めばえ学園、おおらか学園、赤塚福祉園の利用者の利用計画を作成し、サービス利用を援助するとともに他事業所利用の区民のサービス利用の援助等を行った。また支援会議を開催するなど地域の相談機関、サービス提供機関と連携を図りながら相談事業を実施した。

こぐま学園は自主運営（一部補助）の通所療育機関として、年齢や、地域、所属先にかかわらず、専門的な療育支援を発達障害児・者、及び家族への支援を実施している。法人独自の事業としての特質を生かし、利用者との信頼関係に根ざした一貫性のある支援の継続に努めた。

運営に関しては、利用者の方からの月謝のみでの運営を期待されることから運営体制の見直しを行い運営をしてきている。また法人内にて職員研修の場として位置づけて事業であり、各事業所との協体制の下で運営した。今後も引き続き運営体制の整備を検討し実施していく。

子どもの生活研究所内の他学園との有機的な連携をはかり、さらに一体的な運営を目指す。

本年度は36名の利用があった。こぐま学園を卒業した利用者は、有料相談を利用する利用者が顕著であった。

《めばえ学園》

主に自閉症をはじめとする発達障害を抱える乳幼児に対し、生活の安定を図るとともに「人として基盤となる人間関係と自我を育てる療育実践」を行う。同時に子育ての主体である家族が子どもの実態を理解し、自信を持って子育てにあたれるようになるための支援に努めた。

昨年度午後グループの療育を開始し、主に個別対応を必要とする乳児および集団参加が困難な児童、また幼稚園併用児童を対象とし、児童発達支援センターとして受け入れの幅を広げると同時に多様なニーズに対応し、乳幼児期の療育をさらに強化した。

さらに運営面においては、各関係機関との連携を積極的に図るとともに、幼児期の療育意義の啓発、普及に努める。また相談支援事業所と連携し、障害児支援利用計画書等の作成を進め、より効果的な支援をめざした

《おおらか学園》

社会情勢や社会福祉制度・施策の動向に注意しながら、子どもの生活研究所内の各事業所との協力・連携を強化し、事業運営の工夫と弾力化を進めるとともに、職員各自の資質向上に努める。また、引き続き自立支援協議会、地域リハビリテーション実務者連絡会、せたがや福祉区民学会への参加等、世田谷区の地域福祉活動に協力、連携関係を深めるように努めた。地域福祉全体の中で施設に求められる機能が多様化してきている現状があることから、施設自体の運営課題と地域福祉の中で果たすべき役割等を把握、整理し、利用者主体の支援方針を守り、高める方向で運営していた。

支援においては、「受容的交流理論」の理念に基づき、個々の利用者が家庭及び地域社会の中で心身ともに安定し、より良い生活を実現することを目指した支援活動を行うことを基本とする。学園生活における利用者の生活の安定化からの展開として、利用者の自我機能の強化、社会的環境への適応力・社会性の伸長を促進していくための支援を引き続き積極的に展開する。ここ数年社会参加や地域交流の機会が増えており、利用者の他者との関わりの幅が広がり、達成感や自信に繋がっていることを確認できている。そのことから今後も新しい状況への参加や交流の機会を継続していく。また、利用者の加齢に伴う身体機能面を含めた、支援内容の見直しを個々に応じて検討した。

家庭生活においては、保護者の高齢化や病気等に伴う、本人を含めた家庭状況の変化と多様な支援ニーズに対応するため、世田谷区及び他事業者等、関係諸機関との連携をより一層強化して支援に努める。特に、ここ数年は生活全般にわたる支援の方策を考えていく必要性から、を継続してきた。今後も将来を視野にいたした本人及び家族の生活を柔軟にサポートしていきけるような支援体制を目指す。多様化する課題に対応するため、相談支援体制との連携のもと進めていった。

分室それぞれについては、今年度在籍人数に合わせ定員を6名から3名に変更し、活動拠点を子どもの研究所（本園とは別の居室）に移し、引き続き本園との一体的な事業運営を進めていった。

《東京都発達障害者支援センタートスカ》

相談支援と区市町村の発達障害者支援体制整備に向けてのバックアップの二つの柱で運営した。昨年度より後者の比重が高まっているが本年もその傾向を引き続けている。

相談支援では、実相談人数3030であったが来所相談に至るケースは50%弱であった。相談内容としては生活全般に関わる相談が主流であった。

後者については、地域支援マネージャー事業として位置づけられており、特に東京都はより身近な区市町村での支援体制を整備はテイク事を目指していることからこの事業への期待は大きい。昨年度まで区市町村間の交換情報交換の場として開催してきた情報交換会を地域連絡会として開催した。出席は区部16/23、市部16/23であり質疑応答も活発になされ一定の成果を上げることができた。また研修・講演講師の依頼、事例検討会への参加要請など昨年度の数を上回った。この数年の間で「トスカが何をするのか、トスカを活用することの効果」など着実に全域に広まってきていること実感した1年でもあった。

本年と東京都より区市町村の家族支援体制の整備を目的とした東京都ペアレントメンター養成・派遣事業を受託し企画・運営を行った。26名のメンターを養成し派遣した。

2. 月間・年間行事等実施状況

別紙のとおり。

その他

- ・定期健診・生活習慣病予防健診の実施状況

各自で受診のため別々。

職員定期健診・めばえ・おおらか・トスカ・相談・こぐま 17人

生活習慣病予防検診・めばえ・おおらか・トスカ・相談・こぐま 22人

- ・ストレスチェックの実施

3. 職員体制

*別紙組織図を添付

4. 職員研修

めばえ学園

期日	研修名	開催場所	参加職員
4/8	世界自閉症啓発デーシンポジウム	灘尾ホール	園長 指導員1名
4/13	学校公開	久我山青光学園	指導員1名
5/10	世田谷りはねっと	世田谷区総合福祉センター	主任指導員1名 指導員1名
5/25	上級救命講習	練馬消防署平和台出張所	主任指導員 1名
6/7	上級救命講習	八王子消防署	児童員1名
6/28	コロロ発達療育セミナー	立川グランドホテル	指導員1名
7/1	船橋避難所訓練	船橋小学校	指導員1名
7/12	世田谷りはねっと	世田谷区総合福祉センター	主任指導員1名
7/25	知的障害発達障害部会児童施設分科会 講演会	飯田橋セントラルプラザ	園長
9/3	コロロ発達療育セミナー	A P 渋谷道玄坂タワー	園長
9/13	世田谷りはねっと	世田谷区総合福祉センター	主任指導員1名
9/26	せたがやノーマライゼーション	砧総合支所	園長
10/1	せたがや福祉区民学会	昭和女子大学	園長 指導員1名
10/19	砧エリア自立支援協議会	砧総合支所	園長 主任指導員1名
11/1.2	全日本自閉症支援者協会（新潟大会）	A N A クラウンプラザホテル新潟	園長
11/16	知的発達障害部会児童施設分科会学習会	飯田橋セントラルプラザ	園長 主任指導員1名 指導員1名
11/25.26	日本乳幼児精神保健学会 第20回全国学術集会	国立オリンピック記念青少年総合センター	園長
12/8	知的発達障害部会児童施設分科会（入所）学習会	福）宮代学園	主任指導員1名 指導員1名
12/14	東京都福祉保健医療学会	東京都社会福祉保健医療研修センター	看護師1名
1/9	児童発達支援管理責任者研修（2日過程）	練馬区立練馬文化センター	指導員1名
1/9	指定障害児通所支援事業所説明会	東京都庁第1本庁舎	園長

1/10	世田谷りはねっと	世田谷区総合福祉センター	指導員1名
1/16	児童発達支援管理責任者研修(2日過程)	練馬区立練馬文化センター	指導員1名
2/5	動作法講習	子どもの生活研究所	園長 主任指導員2名 指導員6名
2/8	砧エリア自立支援協議会	砧総合支所	園長 主任指導員1名
2/10	日本の子どもの未来を考える研究会 第2回シンポジウム	日本財団2階大会議室	園長
2/14	虐待防止研修会	子どもの生活研究所	園長 主任指導員2名 指導員6名
2/17	東社協知的発達障害部会人権擁護委員会第22回フォーラム	飯田橋セントラルプラザ	主任指導員1名
2/19	児童発達支援管理責任者研修	国立オリンピック記念青少年総合センター	指導員1名
3/5.6	児童発達支援管理責任者研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	指導員1名
3/18	全体職員研修	浦安ブライントンホテル東京ベイ	園長1名 主任指導員1名 指導員6名

おおらか学園

期日	研修名	開催場所	参加職員
4/7	世界自閉症啓発デー2016シンポジウム	灘尾ホール	園長
5/11	世田谷りはねっと	総合福祉センター	主任支援員1名 支援員1名
5/19	平成28年度知的発達障害部会総会	英語センター	園長
5/20	世田谷区手をつなぐ親の会 定期総会講演会	成城ホール	園長
6/1.2	福祉事業所のための研修体制 確立・推進研修	都社会福祉保健医療研修センター	主任支援員
6/9	嘱託医の医療相談	子どもの生活研究所	主任支援員1名 支援員1名
6/20	嘱託医のケース検討会	子どもの生活研究所	園長 主任支援員2名 支援員11名
7/1	避難所体験訓練会	船橋小学校	支援員1名
7/4.5	全国知的障害関係施設長等会議	東京フォーラム	園長
7/7	普通救急救命講習会	子どもの生活研究所	支援員1名
7/13	世田谷りはねっと	総合福祉センター	主任支援員1名 支援員1名

7/13	世田谷りはねっと	世田谷区総合福祉センター	支援員 1名
7/15	発達障害と医療～医療が役に立つとき	清瀬氏ころぼっくる	支援員 2名
7/15	赤塚福祉園祭り	赤塚福祉園	支援員 2名
7/26	障害者差別解消法施行から一年	シャロームみなみ風	支援員 1名
8/19～21	療育合宿	嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦	主任支援員 1名 支援員 1名
8/25	新任職員向け社会人研修	セントラルプラザ	支援員 1名
9/28	キャリアパスを生かした人材管理と育成制度～人材育成と働き甲斐のある諸場づくりの構築～	東京都社会福祉保健医療研修センター	主任支援員 1名
10/1	世田谷福社區民学会	昭和女子大	主任支援員 1名 支援員 1名
10/2	スーパーバイザー研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	主任支援員 1名
10/23	嘱託医のケース検討会	子どもの生活研究所	園長 主任支援員 2名 支援員 10名
10/23～29	米国アルマバレーGHA 視察研修	ノースカロライナ州	主任支援員 1名
11/9	世田谷りはねっと	総合福祉センター	支援員 1名
12/14	東京福祉保健医療学会	東京都社会福祉保健医療研修センター	支援員 1名
1/10	世田谷りはねっと	総合福祉センター	支援員 1名
3/14	世田谷りはねっと	総合福祉センター	主任支援員 1名
3/17	法人新人職員研修	嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦	支援員 1名
3/18	法人全体職員研修	浦安ブライトンホテル東京ベイ	常勤職員全員

5. 実習生等の受入

めばえ学園

ア 実習生

	総数	19名
日本児童教育専門学校		1名
立教大学		1名
青山学院女学院		1名
東京都市大学		1名
明治学院大学		2名
草苑保育専門学校		1名
十文字学園女子大学		1名
目白大学		2名
白梅学園		1名
和泉短期大学		2名
東洋英和女学院		1名
和光大学		1名
上智社会福祉専門学校		1名
大妻女子大学		2名
日本社会事業大学		1名

イ	研修	総数	35名
	独立行政法人国立特別支援教育研究所専門研修		2名
	東京都発達障害スキルアップ実地研修		12名
	全国社会福祉協議会国際部アジア社会福祉従事者研修		1名
ウ	見学	総数	67名
	入園希望者保護者（相談支援専門員等含む）		26名
	社会福祉法人クリスト・ロア会（4回）施設長・職員		4名
	塚戸幼稚園教諭・松丘幼稚園教諭		3名
	こども教育宝仙大学学生・教諭		10名
	帝京大学大和田ゼミ学生		6名
	社福なごみ福祉会ここから施設長・職員		4名
	自閉症協会関係		3名
エ	ボランティア		
	大東学園高等学校学生	総数	1名

おおらか学園

ア	実習生	総勢	10名
	東洋英和女学院大学		2名
	東海大学		2名
	十文字学園女子大学		1名
	立教女学院大学		1名
	東京都市大学		2名
	和泉短期大学		2名
イ	研修	総数	18名
	東京都発達障害スキルアップ実地研修		18名
ウ	見学	総数	10名
	世田谷区赤十字奉仕団		4名
	福祉施設関係者		2名
	おおらか学園入園希望見学者・保護者		2名
	世田谷区障害支援区分調査員		2名
エ	ボランティア		なし

年 間 行 事 等 実 施 状 況

項目 月	行 事				職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	20日	全体保護者会(めばえ) 全体保護者会 (おおらか)		誕生日会 (おおらか) 土曜日開園(おおらか)		職員会議(週1回) 新任職員歓迎会 クローバ運営会		防災訓練		身体測定 体重測定 13日 衛生委員会		日長会
5月	8日 27日	土曜日開園 (おおらか) 動作法 (めばえ) すすみグループ		誕生日会 (おおらか)	19日	職員会議(週1回) クローバ運営会		防災訓練	18日 13日	体重測定 内科検診(めばえ) 衛星委員会	24日	場長会
6月	8日 17日	就学説明会 動作法 (めばえ) すすみグループ (めばえ)	1	誕生日会 (おおらか) 土曜日開園(おおらか)	29日	職員会議(週1回) クローバ運営会		防災訓練	23日	衛生委員会 健康診断 (おおらか) 体重測定	19日 14日 19日	理事会 場長会 評議委員
7月	22日 24日	誕生日会 (おおらか) 夏祭り(合同) 動作法 (めばえ)	15日	施設内宿泊体験(おおらか) すすみグループ (めばえ)	27日	職員会議(週1回) クローバ運営会		防災訓練	28日	健康診断 (おおらか) 体重測定・ 衛生委員会	12日	場長会
8月	31日	誕生日会 (おおらか) 動作法 (めばえ)		土曜日開園(おおらか)	13-15 17日	職員会議(週1回) 夏季療育合宿 クローバー運営会		防災訓練	25日	健康診断 (おおらか) 体重測定 衛生委員会	16日	場長会
9月	12日 14日 29日	土曜日開園(おおらか) 動作法 (めばえ) 50周年記念式典 全体保護者会 (めばえ)	9日	施設内宿泊体験 (おおらか) すこやかとの合同行事秋を楽しむ 会 (めばえ))	21日	職員会議(週1回) クローバー運営会		防災訓練	29日	衛生委員会 健康診断 (おおらか) 体重測定	7日	場長会 理事会
10月	30日 24日 26日	嬉泉バザー 保護者懇談会 (めばえ) 保護者懇談会		秋の一泊旅行 (おおらか)	16日	職員会議(週1回) クローバー運営会		防災訓練	27日	健康診断 (おおらか) 体重測定 衛生委員会 内科健診 (めばえ)	2日 16日	場長会 理事会
11月	28日	動作法 (めばえ)		誕生日会 (おおらか) 施設内宿泊 (おおらか)	17日	職員会議(週1回) クローバ運営会		防災訓練	9日	健康診断 (おおらか) 内科健診 (めばえ) 体重測定	13日	場長会

		土曜日開園 (おおらか)		ごみ収集体験 (合同)				24日	衛生委員会		
12月	22日	クリスマス会(合同) 土曜日開園 (おおらか)	4日 15日・21日・ 26日	動作法 (めばえ) 給食試食会 (めばえ) 体保護者会・試食会 (おおらか)	17-19 21日	職員会議(週1回) 冬季療育合宿 子研全体会 クローバー運営会	防災訓練	15日	体重測定 衛生委員会	11日 20日	場長会 理事会
1月	20日 29日	もちつき (合同) 動作法 (めばえ)		土曜日開園(おおらか) 施設内宿泊体験 (おおらか)	13日 25日	職員会議(週1回) 年頭所感会 クローバー運営会	防災訓練	27日	衛生委員会	19日 13日 30日	場長会 園長会 場長会
2月	3日 21日 23日	節分(合同) 動作法 (めばえ) すすみグループ (めばえ) ぱっぱの会 (めばえ)		施設内宿泊体験 (おおらか) 土曜日開園(おおらか)	22日	職員会議(週1回) クローバー運営会	防災訓練	23日	内科検診 (おおらか) 細菌検査 (おおらか) 体重測定 衛生委員会	19日	場長会
3月	2日 1日2日 21日 22・3日 26日	ひなまつり (めばえ) 卒園レクリエーション (めばえ) 卒園レクリエーション (めばえ) 全体保護者会 (めばえ) 卒園式 (めばえ)	14日	施設内宿泊体験(おおらか) 誕生日会 (おおらか) 全体保護者会(おおらか) 動作法 (めばえ)	18日 15日	職員会議(週1回) 職員全体研修 クローバー運営会	防災訓練	17日	体重測定 衛生委員会		理事会 場長会